

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 10 日

Table with columns for project name, policy system position, financial position, and budget items. Includes details for 'School Education Enhancement' and 'Mitsuyama Elementary School Construction'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Project Overview) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Task Details). Includes a description of the school construction project and a list of tasks like design and construction.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends. Columns include: ①手段 (Methods), ②対象 (Targets), ③意図 (Intent), and various indicators like 'Number of meetings', 'Number of schools', and 'Number of students'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the trend of input volume (costs). Columns include years from 26 to 30 and categories like 'National Treasury Expenditure', 'Local Expenditure', and 'Personnel Costs'.

Table showing the internal breakdown of business costs. Columns include 27年度実績 (27th year actuals) and 28年度事業費予算 (28th year budget) with sub-categories like 'Reporting Fee', 'Travel', and 'Construction Costs'.

(4) 当該年度の実施内容

Table showing implementation content for 28 and 29 degrees. Columns include 28年度の事業内容 (28th year content) and 29年度の事業内容 (29th year content) with descriptions of construction and maintenance work.

事務事業名	(仮称) 桃山小中一貫教育校建設事業	事務事業No.	30101000931	所属課	学校教育課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成27年3月議会において、桃山中学校区保護者から統合に関する請願書が提出され、議会で採択された。これを受け、平成27年6月議会において建設に関わる補正予算が議決されたことから、本事業が実施されることとなった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 統合準備委員会委員が参加するワークショップにおいて、新校舎に関する意見や希望が出され、可能な限り設計案に反映させている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市小中学校適正配置基本計画に沿った形で統合が進められており、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内児童生徒の学習環境の整備に関わることであり、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 校舎が完成し、開校することにより、桃山中学校区の児童生徒の適正な学習環境が確保されることから、成果の向上余地はある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桃山中学校区における適正な学級規模(1学年2学級以上)の確保が出来なくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 児童生徒の減少により適正規模を満たさない環境を改善するためには、統合以外の方法はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 統合に関しては、現在進めている桃山中学校敷地に新校舎を建設する方法のほか、どちらか一方に吸収するパターンもありえるが、国の補助等を考え合わせると現在の方法が最も市の財政負担が少ない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の適正配置基本計画に沿って実施するものであり、他の学区でも今後、桃山中学校区同様、基本計画に関わる方針の決定が必要であるため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	全体的にはスケジュールに沿って進められている。 28年度は工事の着工があるが、消費税増税のタイミングによっては工事費が大きく増額することになるため、それを意識して業務を進める必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 工事の契約にかかる消費税増税が前回の例によると9月末が増税前のリミットになる。実施設計完了予定が7月末ごろになるため、そこから契約までの手順を確認しておき、なるべく早く契約出来るような方法を検討・実施する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ①																						
コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>